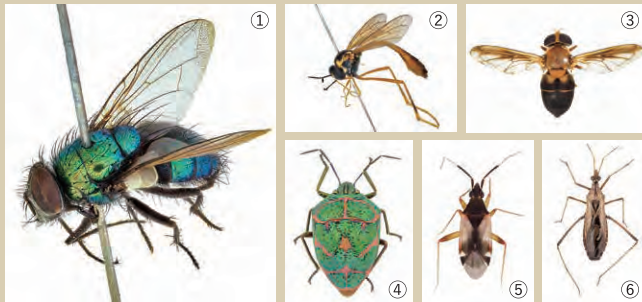


博物館には、 自慢のコレクションが あります。

埼玉県立自然の博物館では、過去5年間に、1万点を超える新たな標本を収集しています。これらの標本は展示を筆頭に、調査研究や普及活動に活用されています。標本収集の裏側には、職員の実力はもちろん、埼玉県の自然誌情報を充実させようという、志あるコレクターや研究者の方々の協力があります。本展示では新収集品の中から選りすぐりのコレクションを展示し、博物館を資料収集活動の視点から紹介します。

埼玉県のハエ&カメムシコレクション

埼玉県内で30年以上にわたって採集された、数万点にも及ぶハエ目とカメムシ目の昆虫標本コレクション。埼玉県の昆虫相を明らかにする上でも貴重な標本です。



1. カエルキンバエ 2. スズキハラボソツリアブ 3. ニトベベッコウハナアブ(以上、原勝司コレクション) 4. アカスジキンカメ 5. ツシマキノコカスミカメ 6. アシボソトビイロサソガメ(以上、野澤雅美コレクション)

秩父鉾山 鉱物コレクション

「地元の宝は地元に残したい」かつて秩父鉾山で働いていた方々の思いを受け継ぎ、博物館で譲り受けた鉱物コレクション。鉱物標本としては一級品が揃う。



1. 秩父鉾山を代表する車骨鉱。 2. パラの花びらのような輝安鉱。このような産状は秩父鉾山の中でもこの標本が唯一のもの。 3. 自形が美しい硫酸鉄鉱。(以上種市コレクション) 4. 板状の方鉛鉱。(品川コレクション) 5. 自形の方鉛鉱。大黒鉱床産。(渡部コレクション)

企画展 新収集品展

博物館を支えるコレクション&コレクター

令和3年 3月13日(土) ▶ 6月20日(日)

矢嶋孝一コレクション



1. 整理中の矢嶋コレクション 2. プテロトリゴニア 3. ネモカルディウム
4. ナノナピス 5. ネイシア 6. ベレムナイト 7. アンモナイト(すべて小鹿野町産)

石灰岩地植物コレクション

平成28年度から3か年にわたって行われた「石灰岩地調査」で採集された、埼玉県の石灰岩地の植生を明らかにするためのコレクション。



リュウキュウマメカキ

ブコウマメザラ

チチブミネバリ

他にも...

当館で発行している「埼玉県立自然の博物館研究報告」に掲載された論文の証拠標本や、企画展のために作成されたレプリカやはく製など、博物館のコレクションは多岐にわたります。



1. 当館で県内初記録を報告したクゲヌマラン標本
2. 埼玉県の蝶、ミドリシジミとハンノキのレプリカ
3. 企画展のために作成された糞をするホンダヌキはく製とジオラマ 4. 天然記念物のミヤコタナゴ樹脂包埋標本 5. 絶滅危惧種のムササビゲイボウ標本

